



あおやかみじろう

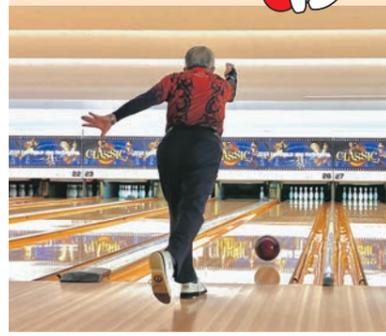
10月に開催されるねんりんピックまで、あと2カ月余りとなりました。本番に向け、本市で実施される種目を紹介します。気になる種目を応援し、大会を盛り上げましょう！

サッカー



ねんりんピックの中でも比較的若い年代の選手が多く出場する種目です。県代表などのチームがブロック優勝を目指し、市内の各会場で熱戦を展開していきます。
球際の激しい競り合いなど迫力のあるプレーを見ることができ、素晴らしいプレーには相手であっても賞賛の意を示すなど、フェアプレーやリスペクトにあふれた場面も見られます。
選手の闘志あふれるプレーをご覧ください。

ボウリング



性別、年代を問わず幅広く親しまれていますが、競技としてのボウリングを見る機会は少ないのではないのでしょうか？
鳥取県内でボウリングの全国大会が開催されることは珍しく、1970年代のボウリングブームで技術を磨き上げた選手のみなさんが全国から集まります。
間近で感じるボウリングの魅力と迫力に、驚くこと間違いなしです。

俳句



俳句は事前申し込み不要、当日の参加が可能な種目です。ねんりんピックは60歳以上が対象の種目が多い中、俳句は年齢制限がなく、子どもから大人まで幅広く参加可能です。
俳句は五・七・五のリズムの良さから誰にでも詠みやすく、季節や自然に親しめることが魅力のひとつです。最近ではテレビで取り上げられることもあり、俳句に触れる機会が増えました。みなさんのご参加をお待ちしています。

ご案内

開催期間中、ヤマタスポーツパーク・風紋広場・市民体育館では、競技以外にも楽しいイベントを実施します。詳しくは本市公式ウェブサイトです。随時更新中！



10月まで連載の第1回だ！

【特集】星や宇宙の魅力を発信し続ける

鳥取市さじアストロパーク オープン30周年

問 さじアストロパーク ☎ 0858-89-1011 ☎ 0858-88-0103

環境省が実施していた星がどれくらいきれいに見えるかの調査「全国星空継続観察」において、



103mm反射望遠鏡

本市の公開天文台「鳥取市さじアストロパーク」は1994年7月にオープンし、今年で30周年を迎えました。
メインである大型望遠鏡「103mm反射望遠鏡」をはじめ、プラネタリウム、宇宙に関する展示、さらに宿泊施設も備えた国内有数の公開天文台として、夜間観望会（天体観察会）、市内公民館での出張観察や講座など、さまざまな事業を行っています。また、佐治町民有志が立ち上げた「五しの里さじ地域協議会」の働きかけで、自然体験の一環として市内の小中学生も毎年たくさん来館しています。

さじアストロパークは光害や大気汚染の少なさなどから何度も空の暗さが日本一と認められており、国内でトップクラスの美しい星空を見ることが出来ます。
こうした星の観察に適した自然環境や施設が魅力となり、30年間で60万人近くの来館者がありました。また30年の間には、しし座流星群など一期一会とも言える、貴重な天文現象に巡り合うこともできました。
星や宇宙と聞くと「自分とは関係がない遠い世界」という印象がありますが、昼間の空で当たり前のように光る太陽がなければ、地球は凍りついた星となり、私たちは生きていけません。宇宙のことを知ると、地球が恵まれた奇跡の星であることを実感できます。
さじアストロパークでは、これからも満天の星に出会える貴重な環境を活用し、多くの人が地球の大切さを実感できるよう、活動を続けていきます。
さまざまな30周年記念事業も行いますので、ぜひお越しください。



★ 30周年記念講演会 ★

「星のかけらを持ち帰れ！はやぶさ2の大冒険」
8月18日(日) 13:30～15:30
定員：80人(要予約) 料金：無料
講師：津田雄一さん (JAXA 宇宙科学研究所 教授・はやぶさ2拡張ミッションチーム長)



★ 小惑星探査機「はやぶさ2」関連展示 ★

9月1日(日)まで
記念講演会に合わせて、小惑星「リュウグウ」の模型や実際に着ることが出来る宇宙服などを展示します。



30年間の主な天文現象など

- 1996年3月 百武彗星 観察会
- 1997年3月 ハール・ボップ彗星 観察会
- 1999年2月 発見した小惑星を「佐治」と命名
- 2001年11月 しし座流星群大出現
- 2003年8月 火星大接近
- 2009年通年 世界天文年
- 2012年5・6月 日食、金星の太陽面通過
- 2013年11月 アイソン彗星、消滅
- 2018年4月 佐治町が県星空保全地域に指定